

令和 2 年 11 月 日

寝屋川市長 広瀬 慶輔 様

寝屋川市廃棄物減量等推進審議会
会長 板東 敬治

寝屋川市一般廃棄物処理基本計画について（答申）

令和 2 年 6 月 16 日付け環総第 647 号で諮問のありました、寝屋川市一般廃棄物処理基本計画について、本審議会において慎重に審議した結果、別冊答申書のとおり結論を得ましたので、下記のとおり意見を付して答申いたします。

今後は、これらの意見を十分に尊重していただき、「持続可能な循環共生型のまち ねやがわ～みんなでとりくむ、ごみの排出抑制、循環的な利用の推進～」の実現に向け、積極的に取り組まれることを期待します。

記

1 一般廃棄物処理の総括的施策

- ごみ減量及び再生利用率は、前計画における目標値に達していないことから、更なる減量施策と資源化の推進のため、先進市等の取組について、本市の特徴に合わせて適宜施策に反映していくよう努められたい。
- 4 R の推進について、市民に浸透していくよう、わかりやすい目標設定や幅広い層への継続した環境学習が必要であり、ごみを減らす意識がコストの削減にもなり、市民の生活が豊かになることにも繋がるという認識を持っていただけるような取組の推進を図られたい。
- ごみ質分析調査における結果を踏まえ、更なるごみの減量化と資源化を図られたい。
- 現在、国で審議されているプラスチック類の一括回収については、引き続き国の動向を注視するとともに、調査・研究を図られたい。

2 一般廃棄物処理の個別施策

- フードドライブなど社会情勢に合わせて開始された取組については、今後一層の推進を図られたい。
- 事業系ごみについては、食品ロス削減や資源化可能物の分別意識の強

化に向けた取組の推進を図られたい。

- 不法投棄防止については、引き続き、自治会等とも協力した体制を図られたい。
- ごみの減量や分別意識を啓発するためのイベントや講座については、小中学生といった若年層や子育て世帯などへの更なる啓発も図られたい。
- 市民にわかりやすく使いやすいツールとして、例えば食品ロスアプリや SNS を一層活用し、従来の広報と併せて幅広い層への啓発・周知を図られたい。

なお、SNS による情報発信は、時節に合わせた適切な頻度とするよう努められたい。

- 減量等目標の達成のためには、市民・事業者に協力を求めていく必要があり、行動主体や施策ごとの削減効果を明確にするとともに、毎年の減量成果を公表するなど、「見える化」を図られたい。

3 生活排水処理について

- 下水道整備区域における下水道への接続率 100%をめざした取組を推進するとともに、今後、減少が見込まれるし尿・浄化槽汚泥の処理については、広域化等を含め、効率的な収集を図られたい。